

研究課題名	「大阪市新型コロナワクチン接種事業のデータ分析評価」に関する共同研究
研究の意義・目的	大阪市健康局と公立大学法人大阪の共同研究により、本市接種体制における大阪市民の新型コロナワクチン接種を公衆衛生学の観点から分析・評価し、その手法を両者で共有することで、今後起こりうるパンデミックへの対応に資することを目的とします。将来、新たなパンデミックが発生した場合には、本研究の手法を用いて、年代別・性別・ワクチン種別や効果持続期間等、多面的かつ迅速にワクチンの有効性を評価することにより、病原体の特性等と合わせて、適切な感染症対策の立案に寄与することが期待されます。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日～2026年3月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2023年5月31日(データ取得日)時点で18歳以上の大阪市民、または2020年2月18日～2023年5月31日の期間に18歳以上の大阪市民であった方のうち、 2023年5月31日時点で大阪市感染症対応業務管理システム(MIO-SYS)に登録されており、2020年2月18日～2023年5月7日に新型コロナウイルス感染症と診断された方 大阪市の接種管理システム上、2023年5月31日時点で、2021年2月19日～2023年5月7日に新型コロナワクチンを1回以上接種済み、及び接種回数がゼロ(接種記録なし)の方
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせて いただく試料・情報 等の項目	新型コロナワクチン接種による感染予防効果等を算出するため、下記項目を本研究に使用させてください。 感染データ：発症日、MIO-SYS上の発症回数、死亡日、症状(発熱、咳、咳以外の急性呼吸器症状、重篤な肺炎、その他の症状)の有無、検査陽性の有無、基礎疾患の有無 接種記録データ：世帯人数、年代、性別、日本国籍かどうか、住民の状態(市民、転出、死亡)、住基台帳システムとの最終連携日、新型コロナワクチンの接種日、接種回数、ワクチンメーカー
試料・情報を利用する 者の範囲	この研究は、大阪市健康局と大阪公立大学大学院医学研究科公衆衛生学で行います。ただし、データ解析に用いる情報は、大阪市のみで管理し、大阪公立大学への提供は行いません。大阪市健康局から大阪公立大学には、大阪市内で行ったデータ解析の結果のみ提示します。大阪公立大学は大阪市健康局に対して、解析方法のアドバイスや結果の解釈などの学術的な支援を行います。 大阪市健康局でデータ解析を行う際は、氏名、住所など、データ解析に必要な個人情報を全て削除したうえで、解析を行います。 大阪市健康局 研究責任者 吉田 英樹

試料・情報の管理について責任を有する者の研究機関の名称	大阪市健康局
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療や行政サービスに関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科公衆衛生学 福島若葉 電話番号：(06) 6645-3756 メールアドレス：gr-med-kouei@omu.ac.jp